

## 【 部門目標・評価 】

### 目 標

1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

【目標1】 院内の医療安全管理委員会は下記2つの条件をクリアする。

○初期研修医師の参加 8回以上/年 (義務付け修了証を発行)

○委員会メンバー以外の事例検討時の参加人数 平均10人/回

【目標2】 研修受講率100%達成を目指す。

○全体研修会 2回 (6月 10月)

第1回 新型コロナの影響を踏まえeラーニングによる受講とする。

テーマ 「5Sとは」「病院医療現場における5S活動」

(受講科目を視聴後確認テスト 所要時間15分程度)

第2回 集合研修とそのときのビデオ視聴によるフォローアップ

テーマ 「職員間のコミュニケーション」

2 医療安全マニュアルの改訂(第5版から第6版への大幅改定)

○各項目の担当部署に9月までの修正や変更について依頼をする。

○修正内容を医療安全室で確認し、医療安全管理委員会に提出し承認を得る。

3 事例検討の活性化を図る。

【目標1】 RCAやImSAFERなどの分析手法を使用し、事例検証の精度を上げる。

○SM会議のメンバーとともに医療安全室で事例検討を行う。(2回/年以上)

○発生部署のスタッフが、主体的に事例検討が行えるよう医療安全管理者が支援する。  
(2回/年以上)

【目標2】 医療事故調査に関わる会議の開催(M&Mカンファレンスや状況確認会議等)

○有意義な意見交換をするためのマネジメント

・事例に関連した資料の確認

・カンファレンス当日のファシリテーターの選出と進行内容についての協議

・感染対策を考慮しながら、病院職員が参加できるための工夫

### 評 価

1 医療安全文化を醸成するために事例検討会参加率や研修受講率を上げる。

目標1の初期研修医に対しては、事例検討会等の前に副院長から毎回メールを出し参加を呼びかけ、修了書の発行など参加意識の向上を図るための対策を講じたものの、研修医の参加率は、38%程度に留まった。

今年度も引き続き、新型コロナ感染への対策のため、密を避けるために積極的な参加を促さなかったこともあり、委員以外のメンバーの参加者は3人/回程度だった。次年度以降も、感染状況の影響は避けられない可能性があるものの、委員以外の参加方法について工夫したい。

目標2については、1回目の受講率94%、2回目の受講率96%と100%目標を達成することができなかった。

## 2 医療安全マニュアルの改訂（第5版から第6版への大幅改定）

大幅改定を目指したが、医療事故の検討会やカンファレンスにおいて、改定が必要だと思われたマニュアルの一部改定に留まった。次年度は、病院機能評価の受審に向けて再度、大改訂への目標を掲げることとする。

## 3 事例検討の活性化を図る

目標1については、毎週火曜日のカンファレンスの機会にRCAやImSAFERなどの分析手法を使うことはなかったものの、積極的に事例検討をおこなった。また、昨年度は、発生部署のスタッフが主体的に事例検討を行えるよう医療安全管理者が病棟に出向き分析に積極的に参加した成果があったのか、今年度は、各病棟で分析し改善策まで考えたことについて医療安全室に報告されるケースが多かった。

目標2については、M&Mカンファレンスを行うケースはなかったものの、医療安全管理委員会で、難しい症例の検討を行い、医師を始め多くの職種からの意見交換がなされた。

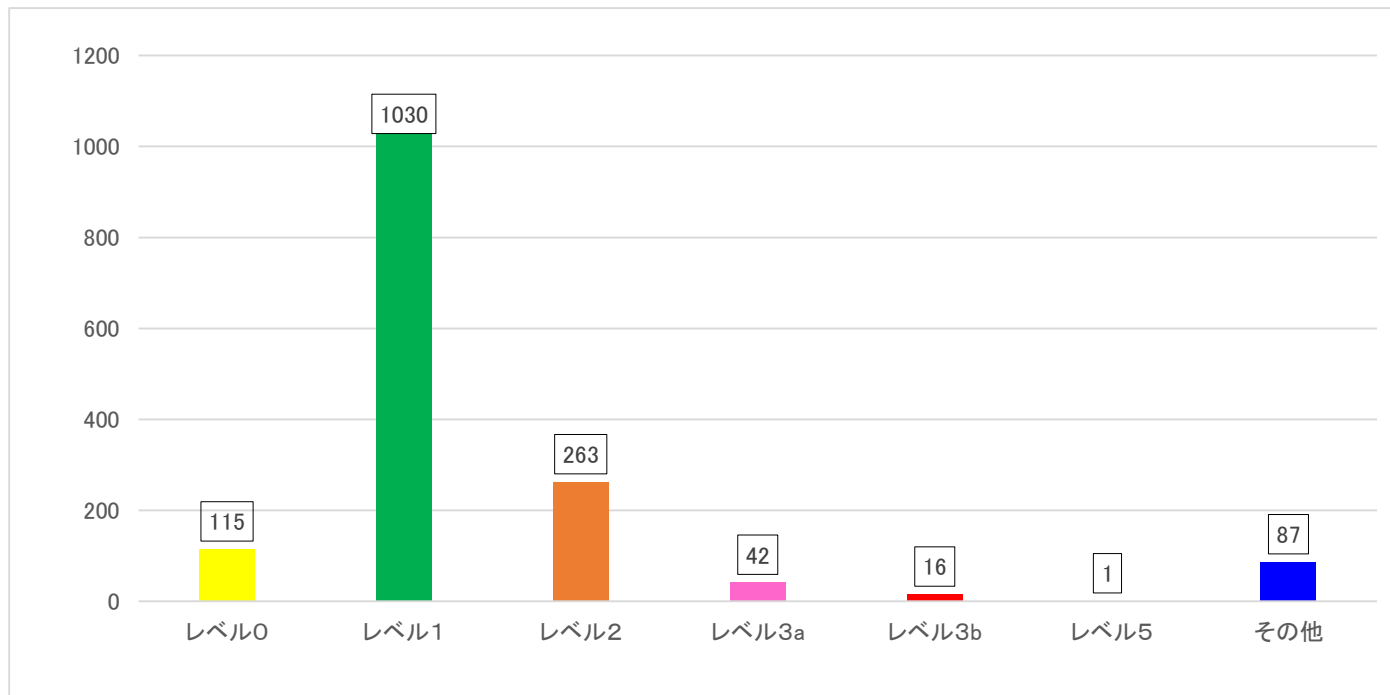
## 【 業務体制・スタッフ 】

役職名等	氏名	マネジメントに関する資格等	業務
医療安全室長	須田 峰子	医療安全管理者 認定看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の医療安全管理体制の構築及び推進</li> <li>・医療安全室の専従職員の労務管理</li> <li>・人材育成</li> </ul>
医療安全担当 副院長	金澤 正樹	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の医療安全管理体制の構築・推進</li> <li>・医師を対象とした医療安全管理の啓蒙指導</li> <li>・M&amp;Mカンファレンスの企画・運営</li> </ul>
副医療安全室長 (専従)	伊藤 由華利	医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全対策の体制確保のための各部門との調整</li> <li>・医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施・評価</li> <li>・重大な事故発生時の院内の組織的な対応</li> <li>・訴訟等に関する弁護士・保険会社との調整</li> </ul>
医療対話推進者 (専従)	牧野 巧	医療対話推進者 医療安全管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者や家族からの苦情および相談・暴言暴力対応に関する研修の企画・運営</li> </ul>
医薬品安全管理責任者	小原 義巳	医療安全管理者 医薬品安全管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品安全使用のための研修の企画・運営</li> <li>・医薬品安全使用のために必要となる情報の収集及び院内周知</li> </ul>
医療機器安全管理責任者	熊川 忠	臨床工学士 臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器安全使用のための研修の企画運営</li> <li>・医療機器の保守点検の適切な実施についての監査及び指導・情報収集及び周知</li> </ul>
医療安全担当 事務	鎌滝 紀幸		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全に関する会議・研修会の庶務</li> </ul>

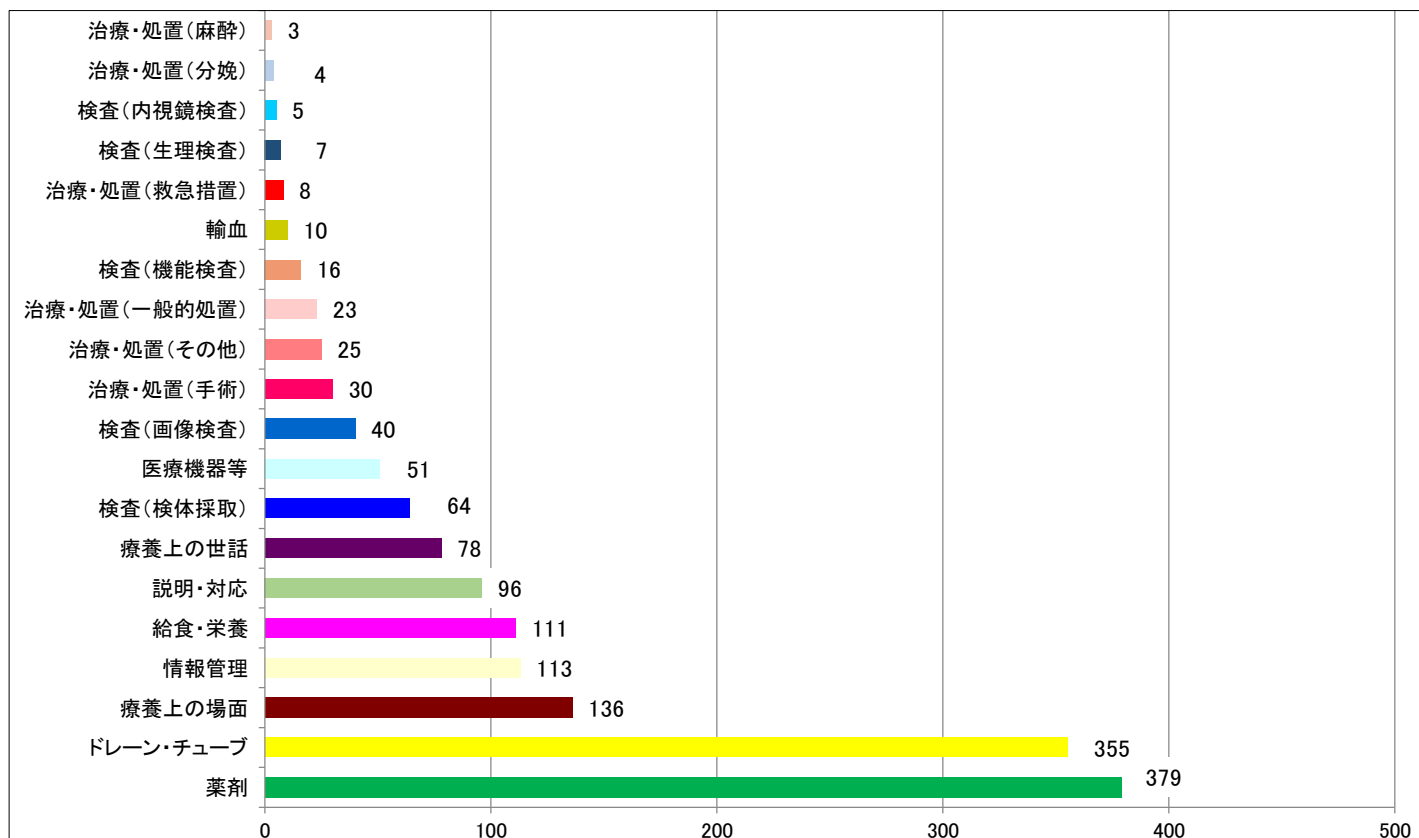
## 【業務実績】

### 〈インシデント報告数より〉

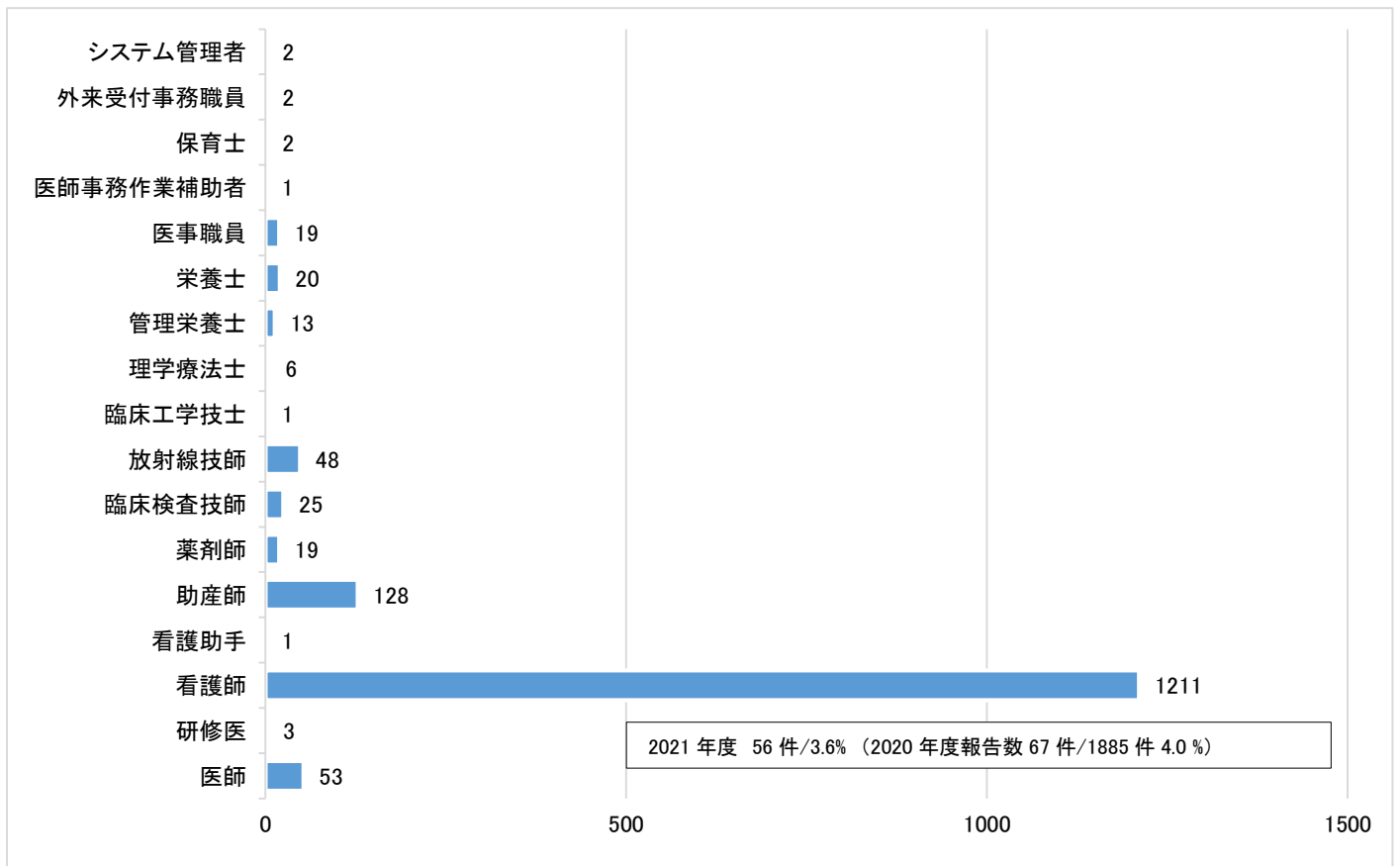
1. 報告総数：1554 件	インシデント（レベル3a以下）	1450 件
	アクシデント（レベル3b以上）	17 件
	その他（暴言・暴力、苦情、レベル不明など）	87 件



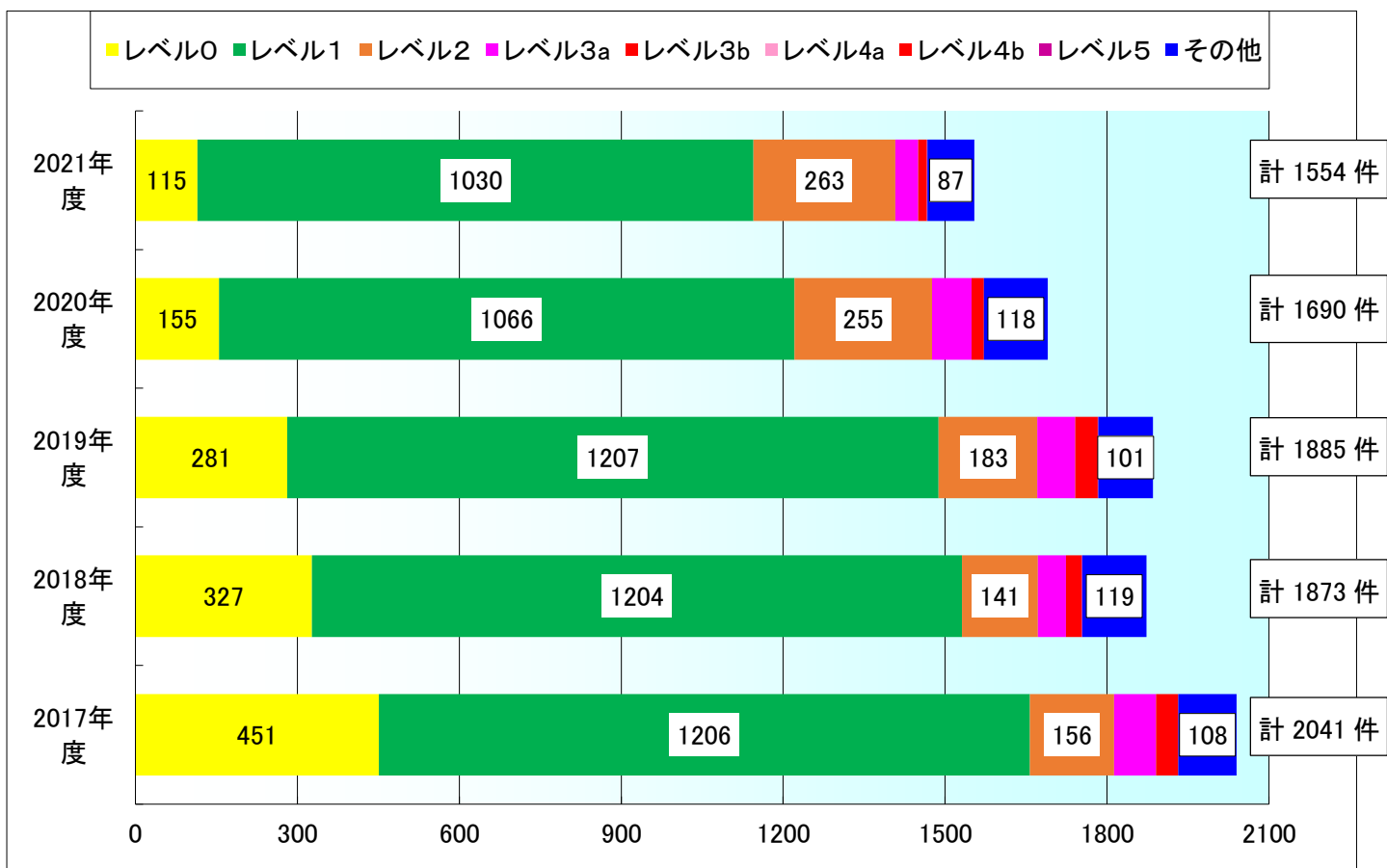
### 2. 報告内容別件数



### 3. 報告者別件数



### 4. レベル別報告数 年度別推移



【令和3年度 医療安全研修】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講者数
必須研修	第1回 医療安全研修会	eラーニング研修 「病院・医療現場における5S活動とは」	6月	全体	443人
	第2回 医療安全研修会	集合研修 「職員間のコミュニケーション」	1月	全体	150人
		eラーニングの受講	3月まで	全体	267人
医療安全 教育	新採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	4月	新採用者	64人
	中途採用者オリエンテーション	医療安全の基本的な考え方	7月 8月 10月 11月 2月	中途採用者	6人
			問題解決	ヒューマンエラーについて	5月
医療機器	ペースメーカー勉強会	使用方法・取扱の説明	12月	3階病棟	39人
	ECMO勉強会	使用方法・取扱の説明	12月 1月	ICU病棟	
薬剤	第1回 医薬品の安全使用講習会	1. 麻薬の取り扱いについて 2. 特別管理薬品伝票で請求する薬剤 の運用について	7月	全体	92人
	第2回 医薬品の安全使用講習会	1. ハイリスク薬剤取り扱いマニュアルに ついて 2. せん妄について	2月	全体	21人
その他	心肺蘇生研修	BLS	随時	全体	全職員
		ICLS	7月 10月	全体	12人 6人
	救急コール	eラーニング研修 CPR コールから MET コールへ	4月	全体	54人

【令和3年度 資格取得・更新研修受講】

受講研修	職種	取得人数	更新
医療安全管理者	看護師	6名	—
	医師	—	1名
	作業療法士	1名	—
	臨床工学技士	1名	—
医療対話推進者	看護師	1名	—

## 【1年間の総括】

インシデントレポートの報告件数は前年度より136件減少した。しかし、入院患者延べ数でインシデント発生率を算出すると前年度より0.16%の減少となっている。全報告件数の中で、医師の報告割合は3.6%、研修医の報告件数は3件だった。医師の積極的な報告、研修医への指導が重要とされる。

医療事故の検証・再発防止に向けて医療倫理に関わる症例検討会を開催した。症例に関わった職員を含め、病院全職員が一丸となって取り組む課題となった。

- 1 医療安全管理委員会の活性化（事例検討を重視）
- 2 インシデントレポートの積極的提出
- 3 医師の提出率UP 目標10%（通常5%程度あれば優秀らしい）
- 4 オカレンス項目の設定と手術バリエーション報告の徹底
- 5 死亡事例の全症報告
- 6 インフォームド・コンセントのガイドライン策定・改訂及び遵守
- 7 M&Mカンファレンスの開催
- 8 産科保障制度や医療事故調査制度の活用
- 9 研修への参加促進（受講率目標100%）

昨年度に引き続き、新型コロナに対応した医療安全活動では、研修会の企画や医療安全管理委員会の開催方法等についてその都度協議し、実行した。今後も社会情勢を鑑みた医療安全文化の醸成への取り組みを継続していきたい。